

ログのサブスクリプションを無効にした後もアプライアンスが Syslog サーバにログ エントリをプッシュし続けるのはなぜですか。

目次

[はじめに](#)

[ログのサブスクリプションを無効にした後もアプライアンスが Syslog サーバにログ エントリをプッシュし続けるのはなぜですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)、Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA)、および Cisco セキュリティ管理 アプライアンス (SMA) のための Syslog エントリに適用します。

ログのサブスクリプションを無効にした後もアプライアンスが Syslog サーバにログ エントリをプッシュし続けるのはなぜですか。

ログ予約購読は以前に syslog サーバに Log エントリをpushするために設定されました。しかしディスプレイにするか、または Syslog pushより何かにログを取得するために方式を変更した後疑わしい、ログ予約購読を機器は Syslog サーバに Log エントリをpushし続けます。

アプライアンスは空にする必要がある Syslog データのバッファを備えています。このバッファが空になった後、機器は Syslog サーバに Log エントリをpushすることを止めます。バッファがメモリで、またハードドライブで保存されると同時に、リブートはない常にクリア バッファ。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)